

令和5年度 事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

公益社団法人 ON THE ROAD

1. 事業の成果

◆いじめ、不登校、引きこもりに関する個別相談

佐賀県内の児童・生徒142名の個別相談を行った。今年度より電話相談に加えてLINEでの相談受付を開始したところ、昨年の2倍を超える対応相談件数となった。初動の電話やLINE対応ですべてを終わらせず、急を要すると判断した場合には駆けつけ支援を実施し、不登校に至っている多様な子ども自身の悩みや家庭が抱える課題を深掘りすることにも努め、複数回の面談やイベントへの誘い出しなど伴走支援にも時間を割いた。学習の遅れが復学や進学ネックになる場合が多いため、学習支援部門に取り次いで伴走を続けている事例も増えている。

◆いじめ、不登校、引きこもりに関する防止対策及び啓発活動

公益財団法人お金をまわそう基金の助成事業で「いじめ相談カード」を作成し、教育委員会の協力のもと佐賀県内の全小中学校に配布したほか、企業や商店にポスター掲示の依頼を行い、子どもたちや保護者に相談窓口の存在を広く伝えた。また、NBCラジオと佐賀新聞で1回ずつ事業の紹介をする機会を設けた。

◆学習支援

公益財団法人公益推進協会 浅井スクスク基金の助成事業で、学習支援事業の拡充を行った。佐賀市と鳥栖市で毎週実施する学習支援教室は年間で60回開催し、参加生徒数はのべ1670名を超え、希望者の増加に対応できる指導人員の確保が今年も課題となった。上記の定期的な学習支援に加えて年間109回の個別指導と44回の受験対策指導も実施したほか、生徒や学生の自主的なボランティア活動等のサポートも行った。

◆難病児・きょうだい児支援

今年度新事業部門として立ち上げを行い、難病児とご家族の支援に先立ち役職員の研修を3回、県外の先行事例の視察を2回（大阪、熊本）実施した。小児科医師3名に選考委員として協力してもらい、難病児の大阪旅行が安全に遂行できるよう体制強化を行い、令和6年度から始まる難病児とご家族の旅行招待事業の事前準備として旅先となる大阪の関係先へ便宜供与依頼を行った。

◆子どもたちの体験学習・イベント等の企画と実施

令和5年度は3回の体験学習・イベントを実施した。伊万里市ではシーバード伊万里・有田の皆さまと共催で海上清掃を予定していたが、強風で船を出すことができず、今年度は急遽、海洋環境に関する学習会とカブトガニ飼育場の見学を行った。同日の午後は大川内山での焼き物の絵付け体験に60名ほどの参加者があり、子どもたちが地場産業に触れる機会を提供できた。佐賀市では、過去に地域の歌を共に作った嘉瀬小学校の子どもたちと11月のバルーンフェスタにて歌と踊りの発表を行った。自然災害や台風の影響を受けることが多く、準備を進めていた田植え体験とみかん狩り体験は中止せざるを得なかった。

2. 法人の組織基盤に関する成果

◆資金基盤の強化

引き続き渉外に努め、事業に必要な資金調達に努めた結果、前年度を上回る資金が集まった。ふるさと納税の返礼品を調達する際に地域の生産者に会う機会も増え、子どもたちの体験授業や見学などでの協力を依頼している。反面、事業の拡大に伴い支出も増加しているため、財源の多様化に努めることが喫緊の課題であると認識した。

◆広報基盤の強化

公益化に伴いWEBサイトの刷新を行い、各事業の情報発信に努めた。SNSを活用した情報発信にも努めたが、動画配信による情報発信は進まなかった。引き続き紙媒体の広報物の作成や情報発信の強化を行うことが必要だと感じた1年だった。

◆組織基盤の強化

公益法人として迎えた最初の年となり、コンプライアンスとガバナンスの強化ができた。外部講師を招いて研修会を実施し、役職員の意識改革に努めた。

◆理事会の開催

令和5年5月15日
令和5年6月12日
令和5年12月3日
令和6年1月8日
令和6年2月23日
令和6年2月29日

◆社員総会の開催

令和5年6月12日（定時）
令和6年1月8日（臨時）